

プログラム・ノート

近藤 滋郎

(こんどう・じろう 音楽評論家・日本ハンガリー友好協会理事)

音楽に国境はないということが言われます。よその国や民族の音楽でも楽しむことができる、というような意味です。しかし国境のない音楽にも国籍はあります。イタリアにはイタリアの、ドイツにはドイツならではの音楽がある、ということです。

ハンガリー音楽のもっとも特徴的なのが＜舞曲＞です。マジダルやジプシー(ロマ)などの民謡でもあります。そして同じマジダル人の民謡でも、土地々々によって微妙に異なった舞曲が数多く産み出されています。

きょう演奏されるモーツァルトとグリーク以外の作品はこうしたハンガリーの舞曲を元に、より洗練された音楽に作りあげられています。今では国境を越えて親しまれていますが国籍までではなくなくなっていませんから、ハンガリーの人たちが伝え親しんできた音楽を垣間見てください。

W. A. モーツァルト／

ヴァイオリン・ソナタ 第25番 ト長調 K. 301

W. A. モーツァルト(1756～91)のヴァイオリン・ソナタは全部で43曲ありますが、演奏会でよく取り上げられるのは第24番以降の20曲足らずで(第37番～第39番は未完)、有名なマンハイム・パリ旅行以後にモーツァルトが自分の書法を確立してからの作品です。このト長調(第25番)の曲は旅行先のマンハイムで作曲され、1778年にパリで出版されました。次の2つの楽章からできています。

第1楽章 アレグロ・コン・スピリト ト長調 4/4拍子

第2楽章 アレグロ ト長調 3/8拍子

V. モンティ／

チャールダーシュ

V. モンティ(1868～1922)はナポリで生まれたイタリアのヴァイオリニストです。大ヴァイオリニストのパガニーニの孫弟子にあたり、フランスのオーケストラのコンサートマスターなどを歴任しました。ヴァイオリンのための作品を書き残していますが、いまではこの曲だけが広く親しまれています。チャールダーシュは、農村の居酒屋チャールダで踊られていた大衆音楽から生まれたハンガリーの代表的な舞曲です。

曲は、緩やかなラッシューと急テンポのフリッシュの2つの舞曲からできていて、叙情と技巧の両面が織り込まれた味わい深い作品です。

S. コダーイノ

マロシュセーク舞曲

S. コダーイ(1882～1967)は作曲家としてばかりでなく優れた教育システム(コダーイ・システムとして世界中で採用されている)の確立者として知られる、ハンガリーを代表する音楽家です。彼の作品は、各地に伝えられたマジルの民族音楽—これらはジプシー(ロマ)音楽よりもさらに古くからハンガリーにあったものです—を元にしたもので、その意味では、もっともハンガリー的な作曲家といえます。マロシュセークは民族音楽の宝庫といわれるトランシルヴァニア地方(現在は主にルーマニア領)の地名です。

曲は4つの舞曲をつなぎ合わせたもので、もとはオーケストラ作品ですがヴァイオリンなどいろいろな楽器用に編曲されています。

B. バルトークノ

狂詩曲 第1番

B. バルトーク(1881～1945)はトランシルヴァニア地方のナジジェントミクローシュ(現ルーマニアのスニニコラウ・マーレ)で生まれました。7歳のときに父親を亡くし、教師をしていた母親とウクライナやスロヴァキアなどを転々としたことが各地の民謡に興味を持たしたようで、後にコダーイとともにこうした民謡を採取したことがバルトークを大作曲家にしたといっても過言ではありません。

1928年に作曲されたこの狂詩曲(ラブソディー)第1番もそうした民謡を題材にした作品で、初演をしたハンガリー出身の大ヴァイオリニスト、ヨーゼフ・シゲティ(注)に捧げられています。

(注)ハンガリーの人名は日本と同じように姓・名の順で書かれますが、国外で活動するときには名・姓とし、訓み方もジョーゼフはヨーゼフ、フェレンツはフランツなどとするのが多いため、国際的に名を為したときには西欧風がそのまま使われるのが一般的です。フランツ・リストがよい例です。

E. H. グリークノ

ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ハ短調 作品45

ノルウェーの大作曲家で今年が没後100年となるE. H. グリーク(1843～1907)が郷土の民謡を使って作曲した名作です。ハンガリーとノルウェーの民謡の違いを味わってください。

グリークには3曲のヴァイオリン・ソナタがありますが、若書きの第1番と第2番はほとんど演奏されることがありません。しかし、この第3番は19世紀の後半に作曲されたヴァイオリン・ソナタの傑作として広く親しまれています。1887年頃に、彼を訪ねてきたイタリアの美人ヴァイオリニストの演奏に触発されて作曲されたと言われています。次の3つの楽章からできています。

第1楽章 アレグロ・モルト・エド・アパッショナート ハ短調 6/8拍子

第2楽章 アレグレット・エスプレシーヴォ・アラ・ロマンツァ ホ長調 2/4拍子

第3楽章 アレグロ・アニマート ハ短調 2/2拍子